

環境調査結果のお知らせ

令和8年9月7日10時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、二枚貝に対して有害なヘテロカプサ・サーキュラリスカーマが最高で27,700 cells/mL確認されました。ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマは警戒基準（500 cells/mL）を超えていますので、注意してください。

湾奥の中～底層及び漁場の中層で大規模な貧酸素水塊が発生しています。今後、この貧酸素水塊は表層付近へ拡大するおそれがありますので十分注意してください。また、表層から底層における水温は概ね30℃に達していますので、併せて注意してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ヘテロカプサ・ サーキュラリスカーマ
	(m)	(℃)		(mg/L)	
A 鳴無 (-) 【10:26】	0	29.3	31.3	7.9	-
	2	29.8	32.3	5.7	-
	5	29.4	32.8	0.0	-
	底層 8	29.2	32.9	0.0	-
B 中学校前 (-) 【10:32】	0	29.6	31.5	6.9	22
	2	29.6	32.5	2.0	470
	5	29.7	32.9	0.0	220
	10	29.7	33.1	0.9	-
	底層 11	29.7	33.2	1.9	-
C 目ノクソ (-) 【10:43】	0	29.7	31.8	8.9	-
	2	29.5	32.0	11.0	-
	5	30.1	33.1	0.6	-
	10	29.8	33.2	3.3	-
	底層 15	29.5	33.3	3.4	-
D 光松 (-) 【11:00】	0	29.8	32.1	10.6	8,750
	2	29.8	32.3	9.8	8,850
	5	30.1	33.1	2.4	170
	10	29.8	33.2	3.6	-
	底層 16	29.4	33.3	3.9	-
1 福良（出入り口） (-) 【10:53】	0	29.9	31.9	9.6	-
	2	29.7	32.2	10.1	-
	5	30.1	33.1	1.4	-
	10	29.8	33.2	3.4	-
	底層 15	29.4	33.3	3.9	-
E 大鹿 (-) 【11:05】	0	29.9	32.0	10.1	-
	1	29.9	32.2	10.4	11,750
	2	30.0	32.5	8.7	-
	5	30.2	33.1	2.0	-
	10	29.8	33.2	3.6	-
	底層 16	29.4	33.3	4.1	-

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ヘテロカプサ・ サーキュラリスカーマ
	(m)	(℃)		(mg/L)	
F 浦場 (-) 【11:13】	0	30.3	32.2	10.1	21,350
	1	29.7	32.4	11.8	27,700
	2	29.6	32.4	11.0	17,400
	5	30.0	33.1	3.4	146
	10	29.8	33.2	3.7	-
	底層 12.5	29.5	33.2	4.2	-
G 水試小割前 (-) 【11:27】	0	30.1	31.9	8.5	-
	2	29.7	32.5	9.5	-
	5	29.5	33.0	5.3	-
	底層 8.5	29.5	33.1	4.9	-

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※ 3
				浦ノ内湾
ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月

- ※ 1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度
- ※ 2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度
- ※ 3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: 鳴無

B: 中学校前

C: 目ノクソ

D: 光松

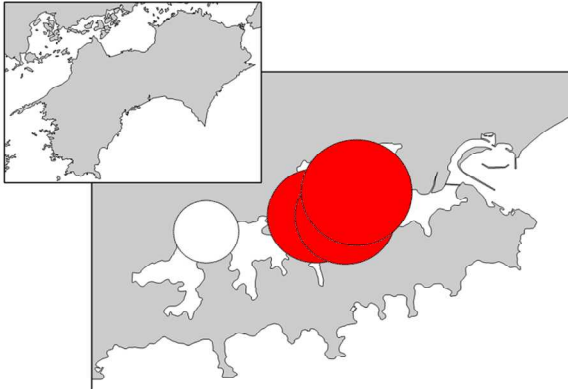
1: 福良（出入り口）

E: 大鹿

F: 浦場

G: 水試小割前

ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ
最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ

円のサイズが大きいくほど、プランクトンの数が多いので注意してください。



注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。
基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

